

平成30年度第1回富士見町総合教育会議 議事録

日 時 平成31年3月8日（金） 午前9時30分～11時20分
場 所 役場3階 応接室
出席者 町長 名取重治 教育長 脇坂隆夫
教育委員 鈴木清 伊藤成八 小林俊一
子ども課長（植松高光） 生涯学習課長（平出裕一）
総務学校教育係長（小池美咲） 記録者（矢崎）

1. 開 会

〈小池総務学校教育係長〉

これより第1回富士見町総合教育会議を始めます。進行をいたします。

〈名取重治町長〉

教育委員の皆さん、日頃よりお世話になりありがとうございます。

本日は、教育大綱の見直しが大きな協議事項になります。第5次総合計画に基づいて教育大綱案が作られていると思いますが、教育に関する最上位計画であるので慎重な協議をして決めていきたいと思えます。

その他、町では公共施設全般についての長期計画を作っているところでもあります。学校や保育園、体育館なども考えていく必要があるので、ぜひお願いしたい。

2. 確認事項

- (1) 富士見町総合教育会議設置要綱について
- (2) 富士見町総合教育会議の公開について

3. 協 議

- (1) 教育大綱（改訂版）について

〈教育長〉

教育大綱は教育の大筋の方向性を示すものとして策定をしている。初めて策定してからここで3年が経過し、更新の年となる。第5次総合計画の施策を受け、教育大綱で教育の方向性を示している。【変更点を中心に内容説明】

〈町長〉

もっと細かく書く等、ボリューム的にはどうか。

〈教育長〉

市町村によってボリュームや書き方等様々である。富士見町のものは標準的なボリュームとなっている。

〈植松子ども課長〉

各分野の計画の中の富士見町子ども・子育て支援計画(2015～2019年度)については、今年度、子育て世帯を対象にアンケート調査を実施した。この住民意識調査を基にして、来年度この計画の見直しを行う。

〈鈴木教育委員〉

人工知能（AI）の進化や文化の違いについていけない。4年後の更新の時には社

会がもっと変わっている。次回はさらにそれに合わせた内容が必要。

〈小林教育委員〉

何のために教育に力を入れるのかということを考えると、子ども達自身がこれから社会づくりの主体者として関わっていくため。子ども達が将来の社会をつくる、社会づくりに参画する大事な人間なのだという視点が言葉の中に読み取れるので、この基本方針、重点項目は適切な表現でとても良いと思う。

〈伊藤教育委員〉

ゆめひろばができて良かったと思うが、茅野市や諏訪市の駅ビルのような子どもの居場所の環境をさらに整えていただきたい。

〈町長〉

それでは今後4年間、この教育大綱（修正版）でやっていきたいと思う。→【承認】

(2) 町内児童生徒及び要配慮児童生徒の実態について（非公開）

(3) 長野県全県の小学校の状況と、町内児童生徒数の推移について

午前11時20分終了